

# 検索を体験する

## 利用者向け・参加ガイド

Plone × LanceDB 検索デモ

Web版の解説を、図と比較表を含めてまとめた持ち帰り資料です。実際の操作画面と最新の説明はサイトで確認できます。

Web版：利用者向け

Web版：自由な広場



<https://d3i4vv7cxswlt1.cloudfront.net/>

2026年10月15日版。開発中のデモのため、機能と画面は今後変わる場合があります。記載の操作は、各機能が管理者により有効化されていることを前提とします。

# 利用者向け

検索は「正しい単語を思い出して入力する」だけのものではありません。このサイトでは、書かれた語、内容の意味、写真に写っているものという3つの手がかりを試せます。まず同じ検索語で結果を比べ、その違いから仕組みをつかんでみてください。

各機能は管理者が有効にした範囲で動きます。コンテンツの公開状況やログイン状態によって、見つかる記事と写真も変わります。

## 登録なしでも、アカウントを作っても参加できます

検索だけならログイン不要です。投稿も試したい方は、共通の体験アカウント（メールアドレス test@example.com / パスワード testtest）でログインできます。自分のアカウントを使いたい方は、新規登録後に届くメールからパスワードを設定し、登録したメールアドレスでログインしてください。

「自由な広場」で参加方法と投稿手順を見る

短い紹介から始める：図でわかる検索デモ

### 1. 同じ言葉で、探し方を変えてみる

#### 01 / SEARCH MODES

### 同じ検索語でも、探し方が違う

たとえば「お城めぐり」で探すなら

#### キーワード

書かれた語で探す

「お城めぐり」を含む  
文章を見つける。

#### ベクトル

意味の近さで探す

「城を訪ねる旅」など  
近い内容も候補に。

#### ハイブリッド

2つの順位を合わせる

語の一致と意味の近さ、  
両方を使って並べる。

概念図です。実際の結果・順位は、内容と閲覧権限で変わります。

キーワードは文字の一致、ベクトルは意味の近さ、ハイブリッドは両方の順位で探すという違い。

たとえば「お城めぐり」。キーワードはその語を含む文章を手がかりにし、ベクトルは「城を訪ねる旅」のような近い話題も候補にできます。ハイブリッドは両者を合わせて並べます。結果を見るときは件数だけでなく、同じ記事が出るか、順位がどう変わるか、どの一節が抜粋されるかに注目します。

比較を始める：「お城めぐり」をキーワードで検索

同じ検索語をベクトルで試す

同じ検索語をハイブリッドで試す

## 検索画面の入口

このサイトでは: Volto の検索（画面上部の虫めがね、または /search）が LanceDB で答えます。探し方の既定はハイブリッドです。

Plone の検索画面 (@@search) と、入力中に出る候補は、管理者が「Plone の検索画面を LanceDB で検索する」を on にした site では LanceDB で探します。Volto の site の検索の page も同じです。off の site は Plone の検索のままです。

語の一部にも一致します（「会議」で「定例会議」も見つかります）。大文字と小文字、全角と半角は区別しません。綴りの揺れや誤字は吸収しません。vector 検索を on にした site では、語の一致と意味の近さを合わせて並べます（ハイブリッド）。言い換えでも見つかります（「山登り」で「登山」の page など）。結果は先頭 100 件までです。それを越えると「100 件以上見つかりました（表示できるのは先頭 100 件までです）」と出ます。日付順・タイトル順など、関連度以外の並びは Plone の検索が答えます。画面に「この並び替えは従来の検索です（関連度以外の並び替えは Plone の検索が答えます）」と出ます。

## 検索の方法の切り替え

vector 検索を on にした site で、検索語があり、関連度で並べているとき、検索の form の上に「検索の方法」が出ます。

| 選択肢         | 探し方                                 |
|-------------|-------------------------------------|
| ハイブリッド (既定) | 語の一致と意味の近さを合わせて並べる                  |
| キーワードのみ     | 語の一致だけで探す                           |
| ベクトルのみ      | 意味の近さだけで探す。語の一致を見ないので、一致した語の強調は付かない |

切り替えても、検索語・絞り込み・並びはそのまま、1 page 目に戻ります。選んだ方法は保存せず、URL に残るだけです。選んだ方法が今使えないときは、「ベクトルのみ」は今使えないため、従来の検索で表示しています」のように出ます。絞り込みや並べ替えを変えて結果だけが替わったとき、切り替えの link は page を開いたときの条件のままです。page を開き直すと今の条件に揃います。

## 2. 広く探すときと、厳密に絞るとき

意味で探すと、入力した語をそのまま含まない記事にも出会えます。一方、製品名や会議名など「この文字があるもの」を探すならキーワードが向いています。次の構文表は、主に文章のキーワード検索で結果を絞るためのものです。

| 書き方   | 意味               |
|-------|------------------|
| 会議 資料 | 両方を含む（空白は全角でもよい） |

| 書き方       | 意味                             |
|-----------|--------------------------------|
| 会議 OR 打合せ | どちらかを含む。OR は大文字だけ。前後の 1 語ずつを結ぶ |
| 会議 -延期    | 延期 を含まない                       |
| "定例 会議"   | この並びのとおりを含む                    |

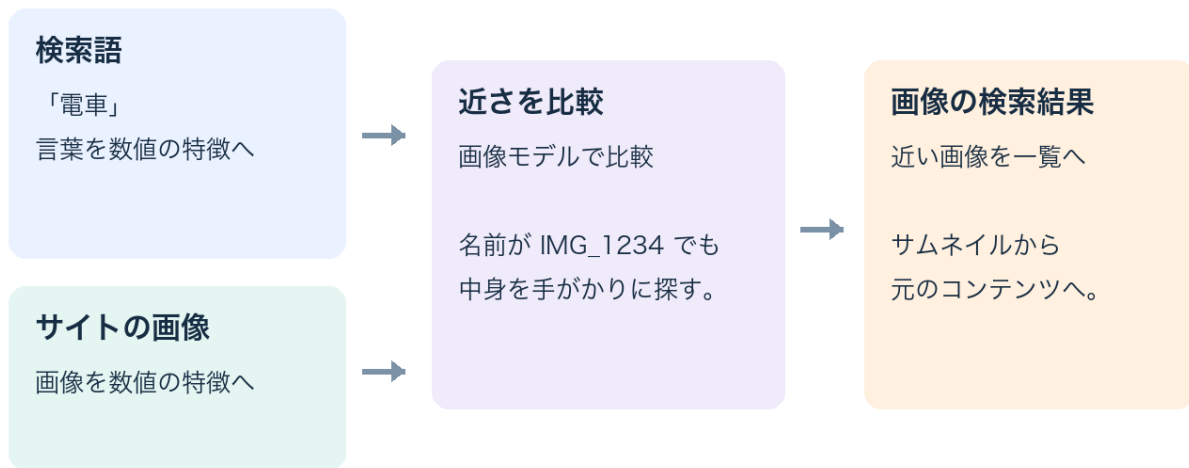
日本語は語を自動で分けません。語は空白で区切ります。「京都寺」は 1 語として探し、「京都 寺」は両方を含むものを探します。語の一部にも一致します。そのため「-京都」は、「東京都」を含むコンテンツも除きます。-で除く語は、どの検索の方法でも効きます。意味の近さで見つかったコンテンツも、除いた語を含めば出ません。空白の AND・OR・"…" が効くのは、語の一致で探す側だけです。「ハイブリッド」と「ベクトルのみ」では、意味の近さで見つかったコンテンツが、書いた条件を満たさないことがあります。書いたとおりに絞りたいときは「キーワードのみ」を選びます。括弧と \* は使えません。否定の語だけで探したときと、空で探したときは、Plone の検索が答えます。

### 3. 名前の分からない写真を、言葉で探す

#### 02 / IMAGE SEARCH

## 写真のファイル名や名前より、写っているもの

検索語と画像を、共通の特徴空間で比べます。



検索語と画像の数値的な特徴を比較して、内容が近い写真を探します。

「電車」「神輿」「盆踊り」のように、見つけたいものを書いてみます。写真の題名にその語がなくても、画像の特徴から候補を探せます。「電車」を「train」に言い換えて同じ写真が上位に来るかを見ると、単なるファイル名検索との違いを観察できます。日本語と英語で結果が完全に一致するとは限りません。

「電車」を画像だけで探す

「train」に言い換えて比べる

「画像のみ」は写真を見たいとき、「画像も含む」は記事と写真の両方から話題を探したいときに使います。文章の検索方式と、探す対象の範囲は別の選択です。画像のみの検索は画像の特徴の近さで並ぶため、キーワード・ベクトル・ハイブリッドという文章側の切り替えは使いません。

このサイトでは: Volto の検索画面に「画像も含めて探す」の link が出て、[画像検索の画面](#) を開きます。Classic の画面 (/classic/@@lance-image-search) でも同じことができます。

画像検索を on にした site では、検索画面に「画像も含めて探す」の link が出ます。押すと検索語を引き継いで、画像も探せる検索画面を「画像も含む」で開きます。

| 検索対象  | 内容                                         |
|-------|--------------------------------------------|
| 通常    | 今までどおりの文字の検索                               |
| 画像も含む | 本文と画像の両方から探す。同じコンテンツは 1 回だけ出す              |
| 画像のみ  | 画像の一覧。サムネイルと見出しは画像を持つ page へ、「原寸を開く」は画像へ移る |

画像は、写っているものと検索語の近さで探します。題がファイル名だけの画像も見つかります。並べ替えは、「通常」では関連度・日付順(新しい順)・タイトル順から選べます。「画像も含む」「画像のみ」は関連度の順だけです。vector 検索を on にした site では、「通常」と「画像も含む」の並べ替えの隣に、検索の方法の切り替えが出ます。関連度の順では総件数を数えないので、その page の件数を出し、続きがあれば「+」を付けます。対象の画像は JPEG・PNG・静止画の WebP です。HEIC は管理者が対応を入れた site だけです。GIF とアニメーションは対象外です。

## 4. 見つかった写真から、使われている記事へ

写真を見つけた後に知りたくなるのは、「この写真はどんな記事で使われているか」です。本文からの参照をたどると、画像の一覧から記事の文脈へ移れます。ファイルを探して終わるだけでなく、関連する読みものを発見する入口になります。

画像も探せる検索画面の結果の各行に、そのコンテンツへ本文でリンクしている page を「本文からの参照:」として出します。

更新日の新しい順に 3 件と、「ほか N 件」を出します。閲覧できる参照元だけを出します。見えない参照元は、名前も件数も出しません。拾うのは、本文に書いたリンクと画像だけです。lead image と関連アイテムは拾いません。

### 「もしかして」

サイトの語彙にない検索語に対し、近い語への置き換え候補を JSON API で返す機能です。ベクトル検索が意味の近い記事を探すのに対し、こちらは検索語そのものの候補です。機能の有効化と画面への表示対応は別で、利用できる表示はサイトの画面実装に依存します。

## TinyMCE で画像とリンクを探す (編集者)

このサイトでは: ページの編集は Volto の画面で行うので、TinyMCE は Classic の編集画面 (/classic/…) でだけ使います。

管理者が on にした site では、本文を編集する TinyMCE の「画像の挿入」と「リンクの挿入」で探すとき、この add-on の検索を使います。

画像の挿入は、画像の中身で探します。題がファイル名だけの画像も見つかります。リンクの挿入は、文字と画像の中身の両方で探します。vector 検索を on にした site では、文字の側はハイブリッドです。画像検索を使えないときは、Plone 標準の検索のままです。切り替えは、次に開いた編集画面から効きます。

## タグのお勧め (編集者)

このサイトでは、利用できる場合に Classic 画面の各ページの「操作」→「タグのお勧め」から開きます。機能の有効・無効は管理設定に従います。Volto でのページ編集と、Classic の補助画面を使い分けます。

自動タグ付けを on にした site では、編集できるコンテンツの「操作」の menu に「タグのお勧め」が出ます。

| 欄    | 内容                                 |
|------|------------------------------------|
| 今のタグ | そのコンテンツのタグ。語ごとに「残す」(既定)・「外す」を選ぶ    |
| 候補   | 自動では付かなかった語。画像と文章のどちらから出たかと、点数を添える |
| お勧め  | 似たコンテンツに付いているタグ (最大 10 語)          |

候補とお勧めの語ごとに「付ける」「不要」「何もしない」を選んで、まとめて保存します。「付ける」と「外す」は、編集画面の保存と同じ通常の編集です (更新日が進み、版が増えます)。「不要」は編集ではありません。その語は以後、候補にもお勧めにも出ず、自動でも付きません。語を押すと、そのタグが付いたコンテンツを探す検索を、新しい tab で開きます。お勧めは、閲覧できるコンテンツのタグだけから選びます。

## 5. 結果が少ない・想像と違うとき

最初に、検索対象が「通常」「画像のみ」「画像も含む」のどれかを確認します。次にログイン状態と公開状況を確認し、保存や公開の直後なら反映を待って再検索します。「意味の近さ」と「文字の一致」は異なるため、ベクトルで思いどおりでなければキーワードへ切り替え、入力語を短く具体的にしてお比べしてみます。

画像検索は写真の内容に基づく候補を出しますが、似た形や近い場面の別の写真が混ざることもあります。結果はモデルの判断なので、最後は元の画像や記事を開いて確認してください。

結果に出るのは、検索した人が閲覧できるコンテンツだけです。非公開のもの、権限の無いもの、公開の期間に入っていないものは出ません (期間に入っていないコンテンツは、それを見る権限を site 全体で持つ人にだけ出ます)。権限で除いたものの名前や件数は出しません。保存したコンテンツが検索に出るまでには、少し時間がかかります (worker が後で反映します)。

# 検索の裏側が気になったら

なぜ言い換えが見つかるのか。なぜ文章と画像と一緒に並べられるのか。技術者向けでは、ベクトルの作り方と順位の合成を数値例で説明しています。

技術者向け：検索が動く仕組みを読む

実装を読む：利用者向けの仕様

# 自由な広場

あなたの文章や写真が検索の材料になります。ページを作り、画像を入れ、検索で見つかるまでを体験する共有スペースです。

## まずは参加方法を選ぶ

### 登録せずに投稿を試す

共通の体験アカウント：メールアドレス test@example.com / パスワード testtest

### 体験アカウントでログインする

ログイン画面のメールアドレス欄に test@example.com、パスワード欄に testtest を入力します。ログイン後は「自由な広場」で、自分のページや写真を追加して検索を試せます。

このアカウントは参加者共通です。アカウント情報やパスワードは変更せず、他の人の投稿を編集しないでお楽しみください。

### 自分のアカウントで参加する

#### 新しくアカウントを登録する

登録画面で氏名とメールアドレスを入力します。届いたメールのリンクからパスワードを設定したら、登録したメールアドレスと設定したパスワードでログインしてください。メールが届かない場合は、迷惑メールフォルダを確認するか、ブースでお声がけください。

#### 自分のメールアドレスでログインする

## 1. 自分のページを作る

ログインしたら、下のリンクからページを追加します。画面の追加メニュー（+）から「ページ」を選んででも作れます。広場のトップを編集するのではなく、その中に自分のページを作ってみましょう。

### 自由な広場にページを追加する（ログイン後）

タイトルは「京都の散歩メモ」「私の鉄道写真」など、内容がわかるものに。本文には、場所や場面、感じたことを数行書き、いったん保存します。

## 2. ページに写真を入れる

保存した自分のページを編集し、本文の空行の「+」から画像ブロックを選びます。画像ブロックでファイルをアップロードし、スマホの写真やパソコンの画像を選んで保存してください。自分のページの中に画像を追加すると、他の人の投稿と整理して扱えます。

たとえば、電車・料理・花・街並みの写真がおすすめです。まずは1枚から試してみましょう。

### 3. 公開して、みんなに見てもらう

保存したページの状態メニューから「公開」を選びます。公開されたページはログインしていない人も閲覧・検索できます。画像にも状態メニューがある場合は、その公開状態を確認してください。

### 4. 自分のコンテンツを探す

#### 文章を検索する

まずはタイトルの語で探します。見つかったら、検索モードを「キーワードのみ」「ベクトルのみ」「ハイブリッド」に切り替えて比較してみてください。本文に「電車」と書いたページを「鉄道の旅」で探すなど、言い換えも試せます。意味が近くても、必ず上位に出るとは限りません。

#### 写真に写っているものを言葉で探す

「電車」「花」「料理」など、写真の内容を表す言葉を入力します。画像検索は、画像の見た目と検索文の近さから候補を探します。ファイル名だけに頼らない探し方を体験してください。

### 見つからないときは

保存直後は検索への反映を少し待ってから、もう一度検索してください。ページの公開状態、画像が保存されているか、検索モードを確認します。長い検索文を短くしたり、別の言葉に変えたりするのも手です。困ったらブースでお声がけください。

### 共有スペースの使い方

ログインした参加者は、この広場で追加・編集・公開できます。他の人の投稿を変更するときは、本人に声をかけてください。写真や文章は、会場で他の人に見せてよいものを使って楽しみましょう。

#### 広場のコンテンツ一覧を開く（ログイン後）

#### 図でわかる検索デモを読む

# 持ち帰って試す

## 散歩写真の言い換え実験

街歩きで撮った写真を1枚追加し、まず写真に写っているものの名前で、次にその場面を説明する短い文章で検索してみましょう。検索語・検索方式・上位の結果をメモし、同じ写真にたどり着けるか比べてください。

## 記録すること

入力した言葉／対象コンテンツ／検索方式／結果の違い／次に確かめたいこと

---

---

---

---

---

この演習の見出しはPDF本文に含まれています。サイトの検索で見出しを入力すると、PDF本文が検索対象になっていることも確かめられます。